



# 春水

shunsui

2017 APRIL 春号

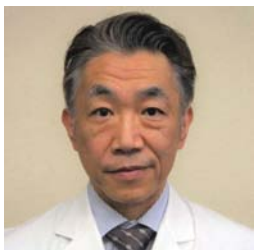


●トピックス  
院長挨拶  
睡眠時無呼吸症候群  
ロボットスーツHAL導入

- 新任医師の紹介
- 院内めぐり
- News & Event
- 病院食レシピ
- PT田中のLet'sリハビリ

# 院長挨拶

～基本理念「医療・福祉を通して、社会に貢献しよう」～



院長  
原 暁生 はら あきお

【診療科】神経内科・内科  
【専門医・認定医】

- 日本神経学会専門医／指導医
- 日本頭痛学会専門医／指導医
- 日本認知症学会専門医／指導医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本内科学会認定医

平成28年4月に院長を拝命しました。

当院は、“医療・福祉を通して社会に貢献しよう”との理念を掲げて、84年にわたり地域医療に取り組んできました。

予防できる疾患はしっかりと予防する、治療できるものはしっかりと治療する、たとえ根治療法がない慢性進行性疾患であろうとも、地域の中で希望をもって元気に生活していただけるように支援する。当院の理念には、医療人として地域の皆様をしっかりとお支えするとの熱い思いが込められています。

諸先輩方の志を受け継ぎ、全職員一丸となって、地域の皆様の疾病予防、治療、そして生活支援に全力を尽くして参ります。これから先もずっと信頼される病院であり続けるように、たゆまぬ努力を重ねて参ります。

今後とも変わらぬ御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 新任医師の紹介

2017年4月より、江崎医師、濱崎医師、森戸医師が着任いたしました。



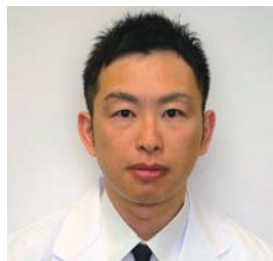
総合内科 医師  
江崎 武 えさき たけし

地域医療に少しでも貢献するためには、多職種によるチーム医療が必要と考えております。よろしくごお願い致します。



腎臓内科 医師  
濱崎 剛 はまざき たけし

好きな言葉は「あ〜りんわっしょい!」。でも好きな(推し)色は「黄色」。いつでも会える医者、腎臓内科医濱崎剛です!よろしくごお願い致します。



消化器内科 医師  
森戸 清人 もりと きよひと

出身は佐賀で初めての県外赴任となります。山鹿市民の皆様が安心して暮らせるよう、消化器科以外にも幅広い疾患に対応できるよう努めてまいります。

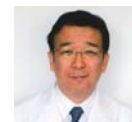
## 目次

トピックス①	院長挨拶	01	院内めぐり	04
	新任医師の紹介	01	News & Event	05
トピックス②	睡眠時無呼吸症候群 ～胃内視鏡検査によるスクリーニング～	02	病院食レシピ	05
トピックス③	ロボットスーツHAL® 医療用下肢タイプ導入	03	PT田中のLet'sリハビリ	06

### トピックス②

## 睡眠時無呼吸症候群

～胃内視鏡検査によるスクリーニング～



副院長・消化器内科  
医師 木庭 郁朗  
こば いくろう

### ○睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群とは、ノドが狭い・ノドの周囲に脂肪が多い・加齢や飲酒などの様々な原因で、寝ているときに息が止まったり、十分な酸素を取り入れられないことにより、本人は寝ていてもその度に脳が覚醒することが続き、脳が十分な休息を得ることができない状態のことを言います。

睡眠時無呼吸症候群があると、昼間に突然耐えられないような眠気が襲ったり、高血圧が悪化したり、心臓に対する負担が増すなど様々な合併症を引き起こします。

次のような項目が当てはまる方は睡眠時無呼吸症候群のリスクのある可能性があります。

- いびきをかく
- 息苦しくて起きる
- 夜間頻尿
- 寝ても疲れが取れない

### ○胃内視鏡検査から発見・治療へ

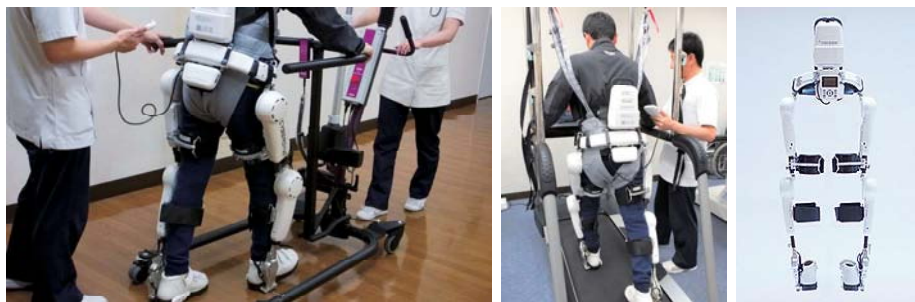
当院では、通常の間診だけでなく、胃内視鏡検査時にも、この睡眠時無呼吸症候群のスクリーニングを行っており、睡眠時無呼吸症候群が発見される例が多くあります。その後、当院にて睡眠時ポリグラフなどの検査から精査・治療へと結びついています。

ご心配な方は、食道がん・胃がん・消化性潰瘍のチェックと一緒にこなすので、外来看護師・受付までどうぞお気軽にお問い合わせください。



中咽頭の呼吸性狭窄(同一症例)

## 世界初のロボット治療機器『ロボットスーツHAL(ハル)® 医療用下肢タイプ』を熊本県内初導入!!



### ○「ロボットスーツHAL(ハル)®医療用下肢タイプ」 とは?

「ロボットスーツHAL(ハル)®医療用下肢タイプ」  
とは、進行性の神経・筋疾患患者の方を対象にした  
治療処置ロボットです。歩行機能を改善することを  
目的に使用するもので、装着者の脳から筋肉へ  
伝わる“生体電位信号”を読み取り、それに応じて  
下肢を的確に補助し、装着者自身の脚での歩行や  
立ち座り動作をアシストします。

「HAL(ハル)」を装着し、動作を反復することで、  
アシストなしでの歩行や立ち座り動作ができる  
ようになることを目標にします。

この「HAL」による対象疾患患者様への治療  
処置は、医療保険の適用が可能です。

### ○当院の導入機器について

当院には現在、「HAL」を使用するにあたって、  
「大幹支持トレッドミル“HALTREAD(ハルト  
レッド)”と「免荷機能付き歩行器“AllinOne  
(オールインワン)”」の2種類の周辺機器も導入  
しています。

「HALTREAD(ハルトレッド)」は、ルームランナー  
と吊り具が一体となったもので、吊り具で支え  
ながらルームランナー上で治療処置することで、

安全性を確保しながらよりアクティブな治療処置  
を実施することが可能です。

「AllinOne(オールインワン)」は、歩行器と吊り具が  
一体となったもので、より広い範囲での治療処  
置を行うことができます。

この2つを活用することで、それぞれの対象患者様  
に合わせた、より効果的な動作を実現しています。

### ○治療処置の対象者について

「HAL」を使用した治療処置をおこなうことが  
できる方は、下記の条件をいずれも満たされる方  
となります。

- 対象疾患のいずれかと診断を受けられた方
- 歩行の際に、介助または歩行補助具を必要とされる方
- 身長・体重などの装着条件を全て満たされる方

また、上記の条件を満たされる方でも対象外と  
なる場合もありますので、まずは「HAL」の治療  
処置についてお気軽に当院までお問い合わせ  
ください。

【お問い合わせ】  
山鹿中央病院 リハビリテーション科 川崎・澤村  
電話/0968-43-6611(代表)



### ○NSTとはなんですか?

NSTとは、栄養サポートチーム(Nutrition  
(ニュートリション) Support(サポート) Team  
(チーム))の略称で、様々な医療スタッフが  
チームを組み、患者様に最もふさわしい方法で、  
栄養状態を管理・支援していく医療チームの事です。  
当院では平成17年12月より活動しています。

### ○構成メンバーを教えてください

当院のNSTは、委員長(神経内科部長・医師)を  
はじめとして、薬剤師・看護師・管理栄養士・言語  
聴覚士・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士  
など、職種を越えて構成され、そのうち3人が  
NST専門療法士の資格を持っています。

### ○どのような活動をしていますか?

一番の活動は、栄養管理を必要とするすべての方を  
対象に栄養サポートをすることです。なかでも、  
食事に関して「食べられない人」「飲み込みにくい  
人や、むせてしまう人(嚥下障害)」「食べられて  
いても栄養不良の人」「経鼻・胃ろうの人」「静脈  
栄養の人」などが対象になることが多く、対象と  
なる方の症例検討会や回診を毎週実施しています。  
その他にも、毎年学会発表をしたり、患者様向けの  
イベントや、地域へ出かける出前講座、職員への  
院内研修などを行っています。

### ○患者様向けのイベントについて詳しく教えて ください

患者様向けのイベントとしては、毎年10月頃  
に行う「ごっくん料理教室」や、栄養食品を取り扱う  
企業を集めての「合同展示会」などがあります。  
「ごっくん料理教室」は食事が飲み込みにくい人  
(嚥下障害)・飲み込みに不安がある人や、その  
ご家族を対象とした料理教室で、毎年多数の  
参加があり、参加者の方からも大変好評です。  
「合同展示会」では、毎年たくさんの企業に  
参加していただき、様々な栄養補助食品を  
試食し、購入することができます。

その他にも昨年は、外来の待合ホールにて、  
熱中症や脱水症状の予防指導の一環として「経口  
補水液」のイベントなども行いました。どのイベ  
ントも、どなたでも気軽にご参加いただけます。

### ○今後の抱負をお願いします

今後の目標は、患者様や地域の人にNSTの  
ことをもっと知ってもらうことです。  
地域への出前講座やイベントなどの活動を  
通じた広報をすることで、NSTのことを知って  
いただき、退院した患者様や通院中の患者様が、  
自宅に戻っても継続して栄養管理ができるように、  
患者様やご家族に、栄養管理の重要性や栄養管理  
に関する情報をもっと周知していきたいです。  
食事や栄養に関して、気になることがありまし  
たら、ささいなことでもお気軽にご相談ください。



## 『フットサル部の活動をしています!』



こんにちは、「山鹿中央病院フットサル部(FCTBK)」です。私たちは、平成27年度より正式に病院公認の部活として、活動費やユニフォーム作成費等の支援を受けて活動しています。

メンバーは看護師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、事務員など十数名で構成され、医師や、関連施設の職員が参加することもあります。



週に1~2回の定期練習を行い、月に1~2回はフットサル場などで行われる大会に参加しています。また、他の医療機関のフットサルチームとも練習や試合などで交流を深めています。

県内の医療機関のチームを集めて行われている「病院対抗フットサル大会」では、第1回大会で準優勝、第2回大会では第3位と2大会連続での上位入賞を果たしました。

みんなでスポーツに打ち込むことで、心身ともにリフレッシュするだけでなく、職員間の親交を深める良い場となっています。当初は経験者を中心に活動をはじめましたが、今では約半数をサッカー未経験者がしめ、勝利にこだわりつつも、みんなが楽しくプレーできるように心がけて活動しています。(女性職員も、プレイヤーやマネージャーとして所属しており、男女混合の試合などで活躍しています。)



## 病院食レシピ #01

### 蓮根しんじょの炊き合わせ



材料	1人分(g)	4人分(g)	栄養価(一人当たり)	
蓮根	30	120	エネルギー	169kcal
しばえび	40	160	たんぱく質	9.9g
片栗粉	5	20	脂質	8.3g
植物油	8	32	炭水化物	14.3g
菜の花	10	40	塩分	1.1g
生シイタケ	30	120		
水	50	280		
濃い口醤油	6	24		
上白糖	2	8		
みりん	2	8		

#### 《作り方》

- 1 しばえびをすり潰す 2 蓮根をすりおろす
- 3 ①+②混ぜ合わせる
- 4 ③を小判型に丸め片栗粉をまぶして、植物油で170~180℃で揚げ。
- 5 水と調味料を合わせて煮立たせた中に、④と椎茸を入れて煮る。
- 6 菜の花は茹でて、盛りつける

## 第1回 慢性腰痛を軽くする体操

### 腹筋を鍛えることによって背骨を安定させ腰痛を軽くします。

この体操は朝起きるときと、寝る前の1日2回行います。全部で3種類ありますが、高齢者では1種類から2種類を選んで、無理をせずゆっくりと毎日続けましょう。

**【注意】腰痛が強い場合には行わないでください。また、決して急いで行わないでください。**

#### ①ねこの背伸び姿勢(ゆっくり5回)

腕と背中をそろししながら腰を後ろの方へ突き出す。



#### ②オットセイの姿勢(ゆっくり5回)

手を肩幅より少し広げて顔より少し前につき、肘を伸ばし5秒間保持する。



#### ③椅子に座ってできる運動 ★職場でもできます

上体をゆっくり左右に回す。

からだの重さで前へまげていき、痛みのある筋肉をゆっくり伸ばしてゆく。



## 関連施設

- 山鹿中央通所リハビリテーション
- 山鹿中央訪問リハビリテーション
- 山鹿中央訪問看護ステーション/鹿北サテライト
- 山鹿中央指定居宅介護支援事業所
- 山鹿中央訪問介護ステーション
- 武内医院
- メディケアホームかもと/デイサービスかもと
- 山鹿回生病院

- 介護老人保健施設太陽
- デイサービスセンターアロハ
- 明生病院
- (有)三栄商会・サンエイメディカル



## 地域医療連携室

- 業務内容
  1. 紹介患者様の当院受診のお問合わせ
  2. 診療情報提供書の管理とお返事等の管理
  3. 退院後の転院先のご相談・ご紹介
  4. 在宅診療への支援
  5. その他、病院業務に関するお問合わせ
- ご連絡方法
 

電話/0968-43-6611(代表)内線2286

	月	火	水	木	金	土
午前	内科(消化器内科) 水足 秀一郎	循環器内科 吉川 雄之	神経内科 原 暁生	内科(消化器内科) 水足 秀一郎	循環器内科 吉川 雄之	神経内科 原 暁生
	神経内科 大森 博之	もの忘れ外来 原 暁生	糖尿病内科 竹迫 雅弘	循環器内科 吉川 雄之	神経内科 原 暁生	糖尿病内科 竹迫 雅弘
	呼吸器内科 米良 昭彦	消化器内科 廣田 和彦	消化器内科 木庭 郁朗	消化器内科 木庭 郁朗	消化器内科 廣田 和彦	消化器内科(第1・3週) 廣田 和彦
	血液内科(第3週) 門野 裕加里	総合内科 江崎 武	呼吸器内科 赤池 公孝	神経内科 大森 博之	皮膚科 熊本大学	呼吸器内科(第2・4週) 杉本 峯晴
	皮膚科 千年 志保	皮膚科 西 葉月	神経内科 向野 晃弘			皮膚科 熊本大学
午後	神経内科 原 暁生	循環器内科(禁煙外来含む) 吉川 雄之	神経内科特殊 原 暁生	糖尿病内科 竹迫 雅弘	神経内科 大森 博之	
	糖尿病内科 竹迫 雅弘	もの忘れ外来 原 暁生	腎臓内科 吉村 伸明	もの忘れ外来 大森 博之	総合内科 江崎 武	
		呼吸器内科 米良 昭彦	総合内科 江崎 武	消化器内科 廣田 和彦	消化器内科 森戸 清人	
			神経内科 向野 晃弘			
			皮膚科 持永 詠子			

## 診療科目

- 内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 呼吸器内科
- 糖尿病内科
- 腎臓内科
- 心療内科
- 皮膚科
- 形成外科
- アレルギー科
- 放射線科
- リハビリテーション科
- リウマチ科

## 診療時間

[月～金] 9:00～12:30  
13:30～17:00  
[土] 9:00～12:30

◎皮膚科外来  
[月] 9:30～13:00  
[火・金・土] 9:00～12:30  
[水] 14:30～17:00

◎もの忘れ外来  
[火] 9:00～12:00  
13:30～16:00  
[木] 13:30～16:00  
※ご家族の方同伴をお願いします。

◎禁煙外来  
[水] 13:30～17:00  
◎血液内科  
[月(第3週)] 9:30～12:30

電話による診察のお問い合わせは、8:00より開始します。

代表電話 **0968-43-6611** 外来直通 **0968-44-7070**

急患又は具合の悪い方は24時間体制となっていますので代表電話でお申し付けください



## 山鹿中央病院へのアクセス

- 車
  - ◎熊本市内から約60分 ◎熊本空港から約50分 [九州自動車道]
  - ◎植木・Cから約15分 ◎菊水・Cから約15分
- 九州産交バス
  - ◎熊本交通センターから山鹿市方面約60分
  - ※新道、日置、来民ハイパス経由→温泉プラザ前下車



医療法人 春水会 **山鹿中央病院**

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿 1000 番地 <http://www.yamagachuohp.jp/>